

様式第2号（第5条関係）

28年2月1日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 大井賢治



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年 / 月24日 ~ 平成28年 / 月27日まで
- 2 旅 行 先 東京都 東京中央大学駿河台記念館
福岡市 博多区 リファレンス館東ビル
- 3 目 的 議員の資質向上 と議会のあり方について。
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 28 年 / 月 24 日 1:30 ~ 4:30
視 察 先	東京中央大学駿河台記念館 5F. 510号室
調査事項	みんなで考える 議員の資質向上策 について
対 応 者	江藤俊昭 山梨学院大学法学部教授 広瀬克哉 法政大学法学部教授
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. ワールドカフェ方式 と、議員間の意見を聞くため。 2. ① 基調講演 ~ 江藤俊昭氏 ② 議員の資質向上、なぜ必要で、どんなことが可能 なのか。 ① ワールドカフェ方式の中で、みんなで意見を出す。 ② よい議員、悪い議員についてのテーマで、みんなが 意見を出しあう。~ 次にテーブルを移動し さらに議論を深め、繰り返す。 ~ 各テーブルホストがまとめの報告を全員に する。 ① まとめ ~ 広瀬克哉氏 ② 議会改革に内われる「成果」とは何か ・分権的な自治体の自己決定は歓迎されて いるか。 ・意志決定への住民感情の反映は、市民感覚の 分かる議員でなければダメだ。 ・意志決定の質の確保は、素人並の議員では ダメだ。 4. 議員の身辺や環境作りも必要ではないか

日 時	平成28年 1月25日 14:00 ~ 16:30
視 察 先	福岡市博多区 リゾレンス駅東ビル
調査事項	議会基本条例からできるまで
対 応 者	高橋伸介氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	1. 基本条例についての効果 2. ①。先進地での議論と当該自治体の課題 。議会基本条例は何のためにつくるのか 。議員定数、議員報酬についての考察 。政務活動費について。 (からがた) ②参考資料で 枚方市議会と四日市市議会 を取り上げ、成り立ちの比較と検証、 栗山町議会の経過など。 ④ 議員報酬については、仕事は明確でなく、報酬根拠 も薄く批判にさらされやすいが、ある意味、議員も 「公選職」と位置付けし、保障も必要でないが 又、選挙があるため専門職にならず、若者から 好かれない。北海道の町村議会の報酬は、 低く過ぎる。

日 時	平成 28 年 / 月 26 日 10 : 00 ~ 12 : 30
視 察 先	福岡市博多区 リファレンス駅東ビル
調査事項	地域ブランドの創出と展開
対 応 者	牧瀬 稔 氏 一般財団法人地域開発研究所
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 地域差別化戦略の構築 2. ①。地域ブランドとは、何か。 ・地域ブランドは、何を指すか ・地域イメージ構築の必要性 ・事例紹介 ・戦略と成功へのヒント ② 違い作りがブランドであり、ライバルを設定し、その地域との差別化を追求することから確固たるブランドになる。 ・例として「水木ロード」の成功は、商店街だけに留まらず、境港市全体に波及。 - それは、テーマパーク化し、行政、事業者、住民一体で取り組んだ成果。 ・横須賀「海軍カレー」の例～ストーリー性や、行政主導のカレーのまちづくり 4. 地域もブランド化する事で、イメージ作りから知名度アップ～住民が増える可能性となる。

日 時	平成28年 / 月26日 14:00 ~ 16:30
視 察 先	福岡市博多区 リファレンス駅東ビル
調査事項	人口減少に立ち向かう戦略
対 応 者	牧瀬 稔 氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	1. 自治体消滅にならないために 2. ①。日本の人口推移の予測 - 人口減少に取り組む方向性 - 人口減少を勝ち抜く視角 - 交流人口拡大の視角 ② 日本は人口減少を歩み続け、北海道については加速するであろう 各自治体は、その用意ができているのか 少なくとも高齢化は増加していく 「住民の創造」それは顧客の創造であり 顧客が自治体にとっては住民であり 自治体経営の目的は、住民の創造(開拓)となる ④ 人口を増やす取り組みは、自然増で 1. 出生数の増加、2. 死亡数の減少が基本だ。もう一つ社会増については、一定期間において、転入者が転出者を上回った場合だ。 また減少幅を遅らせる事も大事だ

日 時	平成28年 / 月27日 10:00 ~ 12:30
視 察 先	福岡市博多区リفرنシス駅東ビル
調査事項	政策づくりのポイント
対 応 者	牧 頼 稔 氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1. 企画部門の強化 2. ①政策研究の視点 ・政策形成サイクル ・政策づくりの注意点 ・政策づくりフレームワーク ・自治体シンクタンクの紹介←企画部門の強化 ②住民の福祉の増進に役立つ事 ・ある問題を解決するための行動の指針で あり、目標と手段がセットになっているもの。 ・政策とは、まちづくりの方向や、目的を示し、 施策とは政策を実現するための方策で、 事業とは施策を実現させるための具体的 手段といえる。 ・政策形成する時は、必ず複眼思考が 大切だ。 4. 自治体シンクタンクが持つべき機能として ・1.助言機能、2.調査機能、3.蓄積機能 が必要である。 ・知識、見識、胆識、が必要で、研究調査重要だ